

減損会計

資産除去  
債務

# 財務会計を 基礎から学ぶ

各種  
引当金

ストック  
オプション

IPO塾  
ウェビナー

IPOでこう変わる。  
税務会計から財務会計へ 入門編



講演資料  
(サンプル)

ご参加された  
お客様の声

をご紹介します！



## I-2 会計と税務の相違点

概要

会計と税務にはそれぞれ次のような違いが見られます。主に会計と税務で認識タイミングの相違があることを原因とします。上場会社のように一般に公正妥当と認められる会計基準を適用した場合には、会計と税務の差が拡大し、特に□部分に大きく影響が出ます。

取引等	会計	税務	ただし、 厳格	具体例
収入項目	○	○		・通常の売上高 ・受取利息
会計：収益	○	×		・受取配当金
税務：益金	×	○		・申告時に修正した売上計上漏れ
支出項目	○	○		・売上原価、販売費および一般管理費（現金支出、確定債務）
会計：費用	○	×		・交際費、寄付金 ・減損、資産除去債務、各種引当金など
税務：損金	×	○		・特別償却 ・圧縮記帳

大きく影響



これまでの税務会計と、IPOで必要な財務会計の違いをわかりやすく解説！



## Ⅱ-4 各種引当金（主な会計処理）

会計基準と税務

### ■引当金の4要件と会計処理（開示）

	金額が合理的に見積もれる	金額が合理的に見積もれない
発生可能性 高い	<b>引当金として処理</b>	偶発債務に準じて注記 (極めて限られたケース)
発生可能性 低い	偶発債務として注記	偶発債務として注記

#### 【引当金の算定】

引当金は、将来費用・支出の見込額のうち当期以前の事象に起因するもの（発生しているもの）について計上します。したがって将来の支出見込額を見積もる必要が生じます。

賞与引当金	予算や決議に基づく支給見込額
貸倒引当金	債権分類に応じた貸倒見込額
退職給付引当金	当期までに発生している退職給付見込額を割引き計算
役員退職慰労引当金	内規等に基づく支給見込み額

〇〇引当金繰入額 ×× / 〇〇引当金 ××



会計基準ごとに、図表を用いながら考え方を解説します。



## Ⅱ-1 減損会計 (減損の兆候 ケーススタディ①)

会計基準と税務

### ケーススタディ① -減損の兆候を理解する-

各資産の期末時点の状況は以下のとおりである。  
各資産に減損の兆候があるか、検討せよ (減損兆候欄に○、×を記載ください)

	資産A (店舗A)	資産B (店舗B)	資産C ※処分予定等なし	資産D
減損の兆候は? (解答欄)				



財務会計特有の会計基準ごとにケーススタディを用意。  
聞くだけではなく考えながら学べます。

## ご参加されたお客様の声



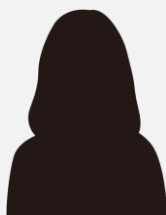
ある程度の前提知識が無いと話についていけないセミナーも多い中、  
具体例やケースで説明いただけただけのため、**初学者でも分かりやすかったです。**

(大阪府 | 製造業 | IPO情報収集中)



**無料と思えない内容**で非常に勉強になりました。

(東京都 | IT・情報通信業 | 3年内IPO予定)



事例が分かりやすくまとめられ、  
**実践で活用できるところが多かったです。**

(東京都 | その他業種 | 3年内IPO予定)



上場企業に必要な会計を**網羅的に確認できました。**

(東京都 | IT・情報通信業 | 3年内IPO予定)

セミナーに申し込む

減損会計

資産除去  
債務

# 財務会計を 基礎から学ぶ

各種  
引当金

ストック  
オプション

IPO塾  
ウェビナー

IPOでこう変わる。  
税務会計から財務会計へ 入門編



皆様のご参加をお待ちしております。

セミナーに申し込む